

「ワインを楽しむ会」

■ 事業者の概要

- 所在地 : 余市郡余市町
- 運営主体 : ワイン用ぶどう栽培農家
- 取組内容(分類) : 農家と消費者の交流
- 【ホームページ】、【Facebook】、【Instagram】 : なし



◇余市の美しい農村景観を創出するぶどう畑

■ 活動経緯・内容

- 平成10年に余市産ぶどうを使用したワインの普及・拡大を進めることを目的にぶどう栽培農家有志により設立。
- 年に1度、2月に余市のワインを生産者と一緒に楽しむイベントを開催。

■ 取り組む際に生じた課題と対応方法

- 生産者主体のイベントから発展して、一般消費者が生産者と直接会う事が出来る場となった。それまでには、口コミと自腹で券を配りイベントを周知。ここ10年くらいは、宣伝しなくても人が集まるようになった。
- 細かい作業はボランティアで行い、赤字を出さないようにしている。
- 参加人数に応じて会館や公民館を使用している。(450人が限界)
体育館もあるが、JR駅から遠くなり不向きである。

■ 活動継続の秘訣

- 自分たちが楽しむ、楽しいイベント。
- 2世代にわたってイベントを開催しており、後継者の子どもには、親が直接指導することよりも、親を見て学ぶ方針としている。
- ワインに合わせる料理は、農家、女性グループなど複数の団体が食の提供者として参加しており、他グループなどとの連携がある。
- イベントは、海産物、農産物、オール余市産を意識することにより地域振興となっている。



◇消費者との交流

■ 活動の成果

○活動をはじめ、26 回目。ぶどう農家や醸造家との交流を求め、毎年 400名を超える参加があり、道外から訪れるリピーターもいて満足度の高いイベントとなっている。

(チケットは入手困難な状況が生じている)

○イベント参加者が口コミや SNS で全国から集まるようになった。

○生産者と消費者が会うことが出来る場所を提供することで生産者の励みになる。

○新規就農及び後継者の参加により確実に増加しており、会としての人材育成が図られている。

■ 今後の展望

○地域活性化のため継続的に余市で開催することを目指す。

町外の方がイベントに参加してもらい、その後余市の街に流れてほしい。(2 次会・宿泊)

○余市で行うには、活動を発展などせず現状維持していく。(利益は求めている)

● まとめ

○手作りのイベントが拡大しながら世代交代しながら後継、継承されている。

○毎年会場キャパー杯の参加は二次会に街へ繰り出すなど経済効果、JR利用など公共交通機関にもメリットがある。

○ワイン(地元特産品)を通して地域住民と連携し、地域活性化に役立つ活動である所は、非常に参考になる。



◇お話をいただいた初代会長の弘津さん、2 代目会長の中川さん、3 代目会長の細山さん (R2.2.7取材)

